

まんざい

旭市立萬歳小学校

平成28年11月21日

No.7

《学校教育目標》

つよく おおしく たくましく

ともに高め合う

萬歳っ子の 育成

近頃の天気は、極端であったり急激であったりすることが多いように思います。暑い夏が終わったら少しずつ秋めいて、そして冬になっていく、というように四季のはっきりしている日本では、徐々に季節が移り変わってほしいものです。しかし、今年は暑い日が長く続き、ほんの少し秋があつて直ぐに冬になってしまったように思います。衣替えも、半袖から一気に秋冬物に移行した感があります。そんな急激な気候の変化にもかかわらず子ども達は、かぜ等で休むことも少なく元気に登校してきています。

11月は、食育の公開を含めて4回の授業研究会があり、地域と交流活動、旭市音楽会、校内マラソン大会（24日実施予定）などもあり行事が多く充実した月になりました。各種行事等にご参加・ご協力いただきありがとうございました。



地域と交流活動

11月5日(土)に「地域と交流活動」が行われました。今年度は、これまで行っていた各学年による地域・保護者の方との交流に加え、音楽の鑑賞を加えました。プロのリコーダー演奏家「グループA B」をお招きして素敵なハーモニーを聴かせていただきました。ほんの短時間芸術の秋を感じることができました。交流の様子や重点等については、担任から紹介いたします。



<1・2年生>

1・2年生は、お手玉やけん玉、紙ふうせんなどの昔の遊びに挑戦したり2年生の手作りおもちゃ(ゴム、じしゃく、車などを使い工夫した物)で遊び、いろいろな方と交流したり、優しさにふれたりすることができました。



お父さんやおばあちゃんがお手本を見せてくれたり、お母さんがいっしょに遊んでくれたりする場面もあり、どの子も「とっても楽しかったよ」と笑顔で話してくれました。

<3年生>

理科の学習で「風とゴムのはたらき」を行ったので、その発展学習として、ゴムのはたらきを利用したおもちゃを使った遊びを展開しました。

地域の方や他の子どもたちとの交流を通して、ゴムのはたらきを遊びながら実感としてとらえる

ことができました。たくさんの方に参加していただき、やりがいをもって子ども達も役割を果たしていました。

<4年生>

4年生は、『みんなで落花生博士になろう』というテーマで、落花生を5月から育て10月に収穫してきたことをクイズや料理・落花生の殻を利用しての人形作りの3つのグループに分かれて活動を行ってきました。子ども達は、計画から教室の飾り付けなどを自主的に、積極的に活動することができました。たくさんの方が楽しく参加して下さい、子どもたちは達成感を味わうことができました。



<5年生>

今回の地域と交流活動は、「交流」と「自分たちでできることは自分たちで」をテーマに、計画を立て準備を進めました。どんな活動をするかを話し合いで決め、役割分担をして準備を進めました。当日は、萬歳小の児童だけでなく保護者、地域の方とピザを作って交流したり、ゲームを楽しんだりしました。アンケートではたくさんの方から高評価を頂き、子どもたちも達成感を得ることができました。



<6年生>

6年生は、迷路を楽しみながら食育を楽しく学ぼうというテーマで、それぞれ分担に分かれ、協力しながら活動を行ってきました。子どもたちは自ら課題を見つけ、積極的に活動することができました。迷路が完成し、たくさんの方が楽しそうに迷路に参加してくれ、子どもたちは達成感を味わうことができました。



お父さんお母さんだけでなく、おばあさま、おじいさまにもご参加いただき、感謝いたします。次年度は、さらに工夫改善を加えてよりよい活動にしていきたいと思っています。

歌声に思いをのせて

11月10日(木)に旭市小学校音楽会が行われ、萬歳小は「人間っていいね!」と「365日の紙飛行機」を合唱で発表しました。「心をひとつに みんなの思いが伝わるように歌おう!」をスローガンに掲げ、音楽の授業や9月からの部活動で一生懸命練習に励んできました。一人一人が曲に対する思いをもち、どうしたらその思いを表現できるのかを考え、試行錯誤と練習を繰り返しながら表現を磨いてきました。子どもたちは皆、発表曲が大好きでした。その「好き」という思いを、歌にのせて一生懸命に届けようと努力してきたからこそ、本番では思いのこもった素晴らしい歌声を響かせることができました。練習から本番に至るまで、「心をひとつに、全員でひとつの作品をつくり上げる」という良い経験をする事ができました。

保護者のみなさまには、ご協力をいただき、また、温かい応援をいただきまして大変感謝しております。ありがとうございました。(音楽主任：篠崎 裕子)



<講師の先生方からの講評>

『萬歳小の子ども達に大きな拍手をおくります。すばらしい合唱をありがとう。演奏曲は何れもとてもいいいで伸びやかに表現しようと努めていることが感じられ、とても良い演奏でした。「音楽性豊かで小学生らしさのある合唱」いわゆる萬歳小のスタイルの完成も近いように思いました。』

(平野一男先生)

『冒頭の音色が和音に合ったしみじみさが出ていてとてもよかったです。低音部も地声にならず、

美しくバランスがとれた演奏でした。リズムも気持ちよくさわやかでした。「人間っていいね」こちらも言葉で伝えようとする気持ちがとてもさわやかでした。難しい曲を合唱としてとても美しく演奏していました。軽いリズムで歌ったところが良いと思います。「365日の紙飛行機」

(高木 智子先生)

【校長室より】

難しいことを易しく・・・

早いもので今年もあと1ヶ月あまりとなりました。今年1年を振り返る時期ですが、学校は2学期のまとめの時期となります。2学期も全力で学習・運動に励む萬歳っ子の姿を見ているので、どのような力がついているか楽しみです。振り返りは、まとめのテストや製作物等で行います。今から少しずつ復習にとりかかるようご家庭でもお声かけをお願いします。

さて、人形劇「ひよっこりひょうたん島」の作者で有名な、今は亡き直木賞作家の井上ひさしさんの座右の銘に次のようなものがあります。

難しいことを易しく 易しいことを深く
深いことを面白く 面白いことを真面目に
真面目なことを愉快に
そして愉快なことはあくまで愉快に

難しいことを易しく人に伝えるには、見えない努力が必要です。今、学校現場では、アクティブ・ラーニングという言葉が盛んに使われています。主体的・協働的な学びという意味で用いられています。友だちと話し合ったり、グループ活動を行ったりしながら、生きるために必要な知識や技能を確実に身に付けていく、まさに難しいことを易しく身に付けていくということでしょう。それには、私たち教職員もたくさん研修しなければなりません。萬歳小の教職員は若手とベテランが一緒になって研修に励んでいます。

「難しいことを易しく」教えられているかを評価するのは、実は子どもではないかと思っています。多くの子ども達に評価される授業の創造に努めてまいります。

【編集後記】

当初の予定では、3年生の社会科の地域での学習や4年生の落花生を使ったおやつ作りの外部講師による授業の様子を掲載する予定でしたが、地域と交流活動と音楽会の紹介に多くのスペースを割いてしまい、掲載できませんでした。ホームページや学年だよりでご覧ください。マラソン大会は12月に掲載予定です。